

待機児童の状況について

1 待機児童の現状について

令和元年10月1日現在の待機児童数は69人で、昨年度の79人に対して10人減となっている。そのうち0歳、1歳児は44人で63.8%を占めている。

(1) 年齢別待機児童数 (10月1日現在)

0歳、2歳、4歳児が増えているものの、3歳児は大幅に減少している。

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
平成30年	17人	25人	11人	23人	0人	3人	79人
令和元年	22人	22人	13人	9人	3人	0人	69人
増減	5人	▲3人	2人	▲14人	3人	▲3人	▲10人

(2) 地域別待機児童数 (10月1日現在)

川西地区は37人で栢山、久野、蓮正寺に待機児童が多いが昨年度から増減はない。川東地区は32人で国府津、千代、鴨宮に多いものの昨年度より10人減となっている。

	川西地区	川東地区	計
平成30年	37人	42人	79人
令和元年	37人	32人	69人
増減	0人	▲10人	▲10人

(3) 待機児童の推移

子ども・子育て支援新制度が創設された平成27年度以降、待機児童は減少傾向にある。

	4月1日現在	10月1日現在
平成27年	16人	79人
平成28年	22人	90人
平成29年	24人	99人
平成30年	17人	79人
令和元年	11人	69人

2 これまでの待機児童対策

本市においては、0、1歳の低年齢児を中心とした保育ニーズの増加に対応するため、認可保育所の定員増や小規模保育事業の整備などの保育の受け皿確保を進めるとともに、保育士宿舎の借上げ補助などの保育士確保策も合わせて実施し、待機児童対策を進めてきた。

(1) 保育の受け皿整備量（平成27年度～令和元年度）

年 度	内 容	定員数
平成27年度	認定こども園開設（1園）	12人
平成28年度	小規模保育事業開設（4園） 企業主導型保育事業開設（1園）	91人
平成29年度	認可保育所分園開設（2園） 小規模保育事業開設（1園） 小規模保育事業定員増（1園） 企業主導型保育事業開設（1園）	85人
平成30年度	認可保育所定員増（1園） 小規模保育事業開設（3園） 小規模保育事業定員増（1園） 企業主導型保育事業開設（1園） 認定こども園保育定員増（1園）	135人
令和元年度	認可保育所新設（桜井地区：保育園大空 45人） 小規模保育事業開設（豊川地区：豊川すずらん保育園 19人） 認可保育所定員増（豊川地区：豊川保育園 5人） 企業主導型保育事業開設（富水地区：ナーサリーとみず 15人）	84人 (予定)
合 計		407人

(2) 保育士確保策

- ・保育士の処遇改善、キャリアアップ研修の実施
- ・潜在保育士向けの就職相談会の実施
- ・保育士宿舎借上支援補助等の実施
- ・保育士資格取得試験の周知
- ・保育士の保育所等への優先入所